

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査のデータなどを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されているデータを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

Laparoscopic Sleeve Gastrectomy（肥満外科手術）を受けた肥満患者において術前のカロリー制限が周術期肝機能に与える影響についての後ろ向き研究

【研究機関】 愛媛大学医学部麻酔・周術期学

【研究責任者】 高崎 康史（麻酔・周術期学 准教授）

【研究の目的】

過去に受診された患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、Laparoscopic sleeve gastrectomy（肥満外科手術）での術前カロリー制限が、術前・術後の肝機能にどのような影響を及ぼすかについて研究を行うことといたしました。その後この研究により Laparoscopic sleeve gastrectomy を受けられる患者さんのより良い術前管理に役立つことができることを期待しています。

【研究の方法】

対象となる患者さん 2017年1月から2019年12月までに愛媛大学医学部附属病院で Laparoscopic sleeve gastrectomy（肥満外科手術）を受けた肥満患者さんです。

（利用するカルテ情報）

- ①患者背景：性別、登録時の年齢、現病歴、身長、体重
- ②臨床検査

血液学的検査：赤血球数、白血球数、血小板数、ヘモグロビン、ヘマトクリット

血液生化学的検査：総蛋白、AST、ALT、 γ GTP、ALP、LDH、グルコース、総ビリルビン、ナトリウム、カリウム、カルシウム、クロール、尿素窒素、クレアチニン、CRP

止血・凝固検査：PT、APTT、フィブリノゲン

③手術麻酔関連の情報：麻酔法、手術時間など

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院 麻酔・周術期学 氏名 高崎 康史

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院麻酔・周術期学 高崎 康史

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5383